

会 議 録

<p>会議名 (審議会等名)</p>		<p>第17回 次世代に引き継ぐ 淵野辺駅南口周辺のまちづくり市民検討会</p>				
<p>事務局 (担当課)</p>		<p>都市計画課 電話042-769-8247(直通) 生涯学習課 電話042-769-8287(直通) 公園課 電話042-769-8243(直通)</p>				
<p>開催日時</p>		<p>令和4年4月24日(日)午前9時30分~午前11時45分</p>				
<p>開催場所</p>		<p>けやき会館2階 職員研修所 大研修室</p>				
<p>出席者</p>	<p>市民検討会 委員</p>	<p>22人(10ページのとおり)</p>				
	<p>有識者協 議会委員</p>	<p>5人(10ページのとおり)</p>				
	<p>その他</p>	<p>7人(各施設担当者)</p>				
	<p>事務局</p>	<p>13人(都市計画課長、生涯学習課長、公園課長他10人)</p>				
<p>公開の可否</p>		<p>可</p>	<p>不可</p>	<p>一部不可</p>	<p>傍聴者数</p>	<p>3人</p>
<p>公開不可・一部 不可の場合は、 その理由</p>						
<p>会議次第</p>		<p>&lt;開会あいさつ&gt; 1 グループワーク 2 全体会</p>				

## 審 議 経 過

主な内容は次のとおり。（ は市民検討会委員の発言、 は有識者協議会委員の発言、 は事務局の発言）

## 1 経 過

都市計画課長による開会の後、要綱第5条第3項の規定に基づき、有識者協議会の野口会長進行のもと、傍聴の確認を行い、事務局から先行事例や新たな計画策定に向けた取組のイメージ等について説明を行った後、「コンセプトを考える」をテーマに、グループワークを行い、最後に全体会において、検討した内容の共有と意見交換を行った。

## 2 議 事

## (1) グループワーク

公共施設WGと公園WGについては、前半は混成グループとしてA～Eグループに分かれ、新たに整備する施設を設置できそうなエリアと難しそうなエリアについて検討を行い、後半は公共施設WGと公園WGに分かれ、グループごとに新たに整備する施設、鹿沼公園がどのような場所になって欲しいかのコンセプトについて検討を行った。まちづくりWGは、淵野辺駅周辺がどのような場所になって欲しいかのコンセプトについて検討を行った。

各WGの成果は別紙のとおり。

公共施設WGと公園WGの混成グループによる前半の発表及び意見交換は以下の通り。

## &lt; Aグループ &gt;

図書館敷地と公園駐車場のところに施設を二つに分けて設置して、その間をデッキや地下通路でつないではどうかとの意見が出された。他にも、施設の設置場所としては、軟式野球場の敷地内や、図書館敷地内にまとめるという意見が出された。

また、駐車場については、地下化してつなげるという意見、駅前の自転車駐車場敷地にまちづくりセンターを移転しても良いのではという意見、実現可能性は別としてだが、図書館敷地と公園の間の道路を無くしたいという意見、駐車場はあまり大きくなくても良いのではないかという意見も出された。

## &lt; Bグループ &gt;

駅からなるべく近いところといった観点から、鹿沼公園の入口あたり(図書館側)から公園駐車場のあたりまでの範囲で施設を設置してはどうかという意見が出された。

軟式野球場の外側の道路は、見通しが悪く、今でも危険な状態であり、駅からも

遠いということで、設置は難しそうエリアと整理した。国道16号側については、住宅が密集しており、道路も狭いため、図書館等を建てた場合には、図書の搬入等で車が入り出すことを考えると、設置は難しそうエリアと整理した。

また、東西南北で検討してみたが、東側の児童交通公園があるあたりについては、児童交通公園を園内の別の場所でリニューアルを行うということであれば、設置可能なエリアと整理した。

#### < Cグループ >

図書館の位置に関しては、駅からの動線や距離を考えると、駅に近い場所が望ましいと考えた。自動車や自転車の流れも集まるところなので、そのような交通の流れは整理が必要であるという意見が出された。図書館敷地と鹿沼公園の間の道路については、本当は敷地の連続性を持たせたいところではあるが、一般的に廃道は難しいとのことだったので、上空を通路でつなぐ等、人が行き来できるような工夫が必要であるという意見が出された。

この場所（図書館側の鹿沼公園入口あたり）に図書館等を設置することで、駅から歩いてきた人の目に留まるようなシンボリックな建物（アイストップ）や、ゲートとして位置づけられたら良いのではないかという意見が出された。

築山については、子ども達の利用頻度が低く、無くしても良いのではないかという意見が出された。水生植物池については、寂れてしまっているので、ピオトープにする等の意見が出された。

白鳥池に親水性を持たせ、子ども達が近づきやすいようにすることで、一体的に整備ができるのではないかという意見が出された。児童交通公園は今の野球場の方へ移設し、公園の外周道路については、自転車と歩行者が安心して通行できるように、公園側にセットバックしてはどうかという意見が出された。

#### < Dグループ >

淵野辺の学生の立場からすると、複合施設の設置場所が鹿沼公園内の南側だと、駅からの距離が遠くなり、周辺が住宅街であることを考えると、入りづらい施設になってしまうのではないかと考えた。北側の方が、在学者・在勤者も利用しやすい施設となるのではないかという意見が出された。

駅から鹿沼公園に至る道の距離が短いため、鹿沼公園の入口あたり（図書館側）に建物があった方が、何があるのかが分かりやすく、その先の公園の中にも行きやすくなるのではないかという意見が出された。

また、公園駐車場の場所に施設を設置すれば、体が不自由な方であっても、使いやすいのではないかという意見が出された。

児童交通公園等子ども利用が多い公園施設については、野球場側に移設した方

が、近隣に大きなマンションもあり、人の目が届きやすく、より安全となるのではないかという意見が出された。

#### < Eグループ >

図書館等への搬入のことを考えると、園内の北側を中心に施設を横長に配置してはどうかと考えた。白鳥池について、移設は難しいが規模は小さくできそうだということがあった。図書館敷地と鹿沼公園の間の道路は廃道して一体化したいという意見が出たが、一般的には難しそうだとのことなので、図書館敷地を利用して、駐車場（1F）と建物（2F）を設置してはどうかという意見が出された。

また、複数の建物を、導線をつなぎながら並べていき、その真ん中にカフェ等が設置できれば、利用者がくつろげるのではないかという意見が出た。グラウンドは残しても良いのではないかという意見も出た。

駅から鹿沼公園までの動線についても、整理した方が良いとの意見が出された。

#### 【質疑応答等】

：交通安全という視点は重要だと思う。Aグループで「軟式野球場の敷地内」と言ったのは、自動車、自転車、歩行者の動線を分け、自動車は南側から北側への一方通行とし、建物と駐車場を野球場のあたりに設置するというものである。歩行者は公園の真ん中を通り、自転車は、駅前の駐輪場の立地からすると、東側を通るように動線を分離してはというアイデアであった。

：各グループで付箋に書いていただいた内容も本日の成果としてまとめさせていただく。概ね委員の皆さんの意見の方向性も明らかとなってきたので、本日後半のグループワークでは、前半のグループワークの結果を念頭に置きながら、新たに整備する施設や公園が、どのような場所になって欲しいか、コンセプトの検討をお願いしたい。

#### (2) 全体会

各WGで検討した内容を全体で共有し、意見交換を行った。

##### < 公共施設WGと公園WGの混成グループによる前半のグループワーク >

：前半のグループワークでは、公共施設WGと公園WG合同で、どのあたりであれば、新たに整備をする施設を設置できる可能性があるのか、検討を行った。

3～4人ずつで5つのグループに分かれ、意見交換を行った。全体のまとめの地図には、水色とピンク色の付箋を貼り、意見を集約していった。出された意見の傾向としては、淵野辺駅との近さ等の理由から、一体的に利用するエリア中で北側の敷地を設置可能なエリアとする意見が比較的多かった。各グループの検討内容については、後日整理をして共有させていただく。

## &lt; 公共施設WG &gt;

公共施設WGでは、主に、利便性、生活環境、多世代交流、個性・特色の4つの点からコンセプトを考えた。まず、利便性について、主なものとしては、「ハードルの低い図書館」が挙げられた。誰でも使えることを目的として、幼い子どもが学生など大人になっても使い続けられるように、といった考えである。次に、生活環境に関しては、近隣にお住まいの方の建物との調和、全世代間交流といった意見が出され、機能同士の融合が求められていると感じた。次に、多世代交流については、全世代間交流のほか、目的を問わずに利用できる方が良いといった意見が出された。これらの交流を通して、何をしたいのかが一番大事なのではないかという意見も出された。最後に、個性・特色について、主なものとしては、「音楽があるまち」が挙げられた。音楽だと世代、国籍を問わず交流することができるので、公民館の貸室を使用して練習し、広場の野外フェスティバルで披露してもらったら良いのではないかという意見が出された。

## &lt; 公園WG &gt;

ワーキンググループでは、残したい機能や施設、多世代交流施設、バリアフリーの視点、運動・遊べる空間、全天候で利用できる休憩施設の5つの視点に意見が集約された。

残したいものとしては、交通公園、白鳥池、D52、築山が挙げられた。

また、周辺の自動車等の流れを考えて交通事故のないようにしたいとの意見が出された。

多世代、全世代の方の居場所となるように、大人、高齢者向けの健康器具、広場があれば小さい子どもの居場所とすることもできるということになった。

追加で欲しい施設としては、中高生向けの施設がないので、青少年学習センターの機能も来ることを考えると、スケートボード、バスケットボール、ダンスができる場所があったら良いのではないかという意見が出され、多世代の居場所となるようにということになった。

バリアフリーの視点から、トイレの中に介助ベッドを設置するなど、障害がある方でも利用しやすいようにする等、誰でも利用できる公園という意見が出された。

運動施設については、鹿沼公園の特色であり、公園を周回できるジョギングコース等があると良いということになった。

休憩場所も公園のメインの機能であり、カフェや食事スペースとして、小さくても構わないので屋外で屋根があれば、全天候型として日差しを避けながら過ごす場所とすることができるのではないかという意見が出された。歩行者と自転車を分離し、芝生の他、自然に触れ合えるような場所でカフェがあったら良いという意見も

出された。

<まちづくりWG>

コンセプトを決めるまでに至らなかったが、それにつながるような素材はたくさん出すことができた。大きなキーワードとしては、「ゆるやかなつながり」である。がちりとした人と人とのつながりではなく、幅広くつながりを持っているというイメージである。

- ・北口と南口の関係をつないでいくことや施設をつくるにしても財政面の不安もあるという意見が出された。
- ・南口に今ある緑や店を残して大事にしていきたいという意見が出された。

次回は、駅南口から公園と施設への動線を中心に考えていながら、コンセプトを練り上げていきたい。

【質疑応答】

：公園WGの方にお聞きしたい。今日の検討の中で、淵野辺駅南口から鹿沼公園に向かう動線について、何か議論したことがあれば教えていただきたい。

：鹿沼公園を利用することが目的の人もいれば、園内を通り抜ける人も多い。前半のグループワークの中でも話題に出たが、鹿沼公園の外周に歩行者と自転車を分離したものを作るか、公園内を通り抜けできる場所が必要ではないかと感じた。朝・晩は通勤・通学のための自転車が、送迎のための自動車も多い。そのような動線の分離をしていかないと難しいと思っている。駅前にある自転車駐車場の場所にもかかわる問題であり、今後の検討課題になると思われる。

：まちづくりWGの方にお聞きしたい。公民館敷地の活用について、今日の検討の中で何か議論したことがあれば教えていただきたい。

：公共施設跡地の活用について、売却よりは定期借地の方が、土地活用益を見込みつつ、次世代に何かをしようという時に、使えるような期間設定をした方がよいのではないかという意見が出された。また、何か建物を建てるのではなく、いったん更地にして、実験的に地域で活用できるようなことができないか、といった意見も出された。今回は商業的な立場からの意見も出て、グループとしてのまとめには至らなかったが、色々な意見を出せたことは良かったと感じている。今後も他のWGの方の意見も聞きながら、検討をしていきたい。

：補足で、跡地についてちゃんと議論はしていない。その中で出た意見は今の2つである。

：今回用意していただいた「コンセプトたたき台検討シート」を見ていて感じたのは、一体この施設や公園で、誰が何をしたいのかが見えてこない。先週、町田の薬師池公園へ視察に行ったときに、芝生広場で寝転んでいる人もいた。例えば、

公園の中で寝そべるという行為は、公園の中でやることの一つでも良いと思う。公園の中でやることを1つずつピックアップして、他にも、座る、寝転ぶ、ボール遊び、ドッグラン、鑑賞する、眺める等様々なものが挙げられるのではないか。公園の中に複合施設を設置すると、眺めるという行為も付け加えることになると思う。その行為に対して、どういう施設を用意するのかということを考える必要がある。それがないと、何をしようとしているのかが見えてこないのではないか。新しい公共施設をつくったところで、一体何をしたいのか、何かをすることで、何が生まれてくるのか、そのところを見据えていかないと、いくら利便性や快適性の話をしても、一体どういう施設とするのか、具体的に見えてこないのではないか。その場所で何がしたいのか、その結果何が生まれてくるのか、これまで検討している経過があるのであれば、まとまった資料を見せていただきたい。

：コアになるコンセプトが決まってないと、何をどこに置くかというだけの議論になってしまう。今の意見は、私はまちづくりの方で考えていくが、つくろうとしている複合施設のコンセプトについて、「その場所で何をしたいのか」という根本のところを、指摘されたご意見だと思う。なかなか大変だと思うが、公共施設WGの方も頑張っていたらいいと思う。

：結果として、この場所でどんなことをしたいのかという検討は、以前の検討会においても、議論をしたことがあったと思う。それとは別の話だが、今日は比較的良い話ができたと感じたが、委員の方に、近隣住民、施設利用者等様々な立場の方がいるが、その立場から一步踏み出た意見というものが、なかったと感じている。様々な立場の方が意見を出し合うのがこの市民検討会の目的であると思っている。今日は具体的な話ができたと感じているが、もう少し突っ込んだ話ができれば良いと感じている。

元々は、市の方で地域住民のための淵野辺のまちづくりという言い方をされていて、それに対して、そうではなくて、淵野辺駅や図書館、公民館を利用するために、他の地域から来ている利用者もいるという話をさせていただいたこともある。その結果として、以前の市民検討会の資料では、施設を利用している方の意見も踏まえて、という形になった経過がある。そういうことも含めて、もう少し突っ込んだ議論ができたら良いと思う。

：ここでどのような活動をしたいのか、そのために、どのような機能が必要なのかについては、突き詰めて検討した経過はないが、そのような議論をした会もあったので、事務局で整い次第、資料としてお示ししていきたい。

：確かに、オープンハウスの前にもそのような検討をしていて、公園に必要な機能として、かなり挙げられている。今回の資料の中でも、都市公園の施設が紹介されているページがある。都市公園の機能として、どれを優先したいのかについては、これまでの検討会でも議論してきた経過がある。本日の公園WGの中でも

検討していて、今日の議論の中では、児童交通公園、休養施設、運動施設については、鹿沼公園として最低限残したい施設として意見が出された。

：先日、町田の薬師池公園を視察に行った際に、鹿沼公園は緑が少なく、イメージカラーとしては、「茶色」であり、「茶色」のままで良いのだろうかという話をした。私はもう少し緑が多くても良いと思う。眺める、鑑賞するとして、芝生があれば良いのか、イギリス式やフランス式の庭園が必要なのか、一つひとつの行為に対して、行為の側から施設を見ていくと、1対1、又は1対複数の関係として整理していく必要があるのではないか。そういった情報をリストアップして、当てはめていくと、公園の具体的なイメージが湧くのではないか。

○：公園に議論が集まる理由として、公園の持つフレキシブルさがある。都市公園法は制約が多いようなイメージを持たれがちだが、よく見ると、意外と何でもできる。誰でも、何でもできるということなので、結局のところ自由な空間というところは何でもできる、ということで後付けとなってしまいやすい空間である。公園における行為が分かりづらくなってしまふところがあり、公園を作った初期の資料を見てみると、日本人はまじめなので、海外の事例として、自由な空間があってもさあ好きにしようという思考になかなかならない。そのため、公園施設としての位置づけを行い、当時自動車が増えてきたことを踏まえ、児童交通公園を作った。とても忠実に作っていて、鹿沼公園は、昭和30年代後半には、最新鋭の公園であったが、そこから50年以上経過し、今日ではニーズも変化してきた。何か違うなと色々な方が感じているのが、現状ではないか。「誰が」に関しては今日の議論は不足していた部分かも知れないが、「誰が、どう使う」ことを想定するのかまで踏み込んで議論ができれば、良い公園づくりにもつながるのではないかと思う。

○：公共施設WGと公園WGは、前半は3～4人グループで検討をしていた。かなり面白い案が出ていた。最終的なWGの発表になかった部分でも、個人的に強く印象に残っている提案もあった。公園の中に、複数の施設をぐるっと回廊でつないで回してしまえば、歩きたくなるのではないかというアイデアが出されていた。これは、利便性や合理性といったことから一步外れて、歩くことが楽しくなるという、ポジティブな提案だった。案の実現可能性は置いておいて、今ある環境をどうポジティブに使うことができるのか。どう使いたいのかに結びついていくと思う。その際に、機能と結びつけないと人間は不安になるため、「こういったことをしたいから○○」と名称をつけたがる。もう少しフランクに考えていくと、名前に縛られずに、どのような環境を目指したいのかを考えていった方が良いのではないかと思う。

まちづくりWGで出された「ゆるやかなつながり」という言葉もとても良い。



コミュニティや交流といった話題が出ていたが、その言葉に騙されがちであり、実際に小さな子どもと何も知らない大人が交流したら親は安心かという、そうではないと思う。同じ空間で、何となく活動の内容が見えるような距離感、そういうものが「ゆるやかなつながり」なのではないかと感じた。コミュニティ、交流という、すごく強く結びつかなければならないといったイメージだが、その状況を「ゆるやかなつながり」という言葉に置き換えられたのは、良いキーワードの出し方だったのではないかと思う。

### 3 その他

事務局より、第18回市民検討会を5月29日(日)に、第19回市民検討会を6月26日(日)に開催を予定している事を伝えた。

以 上

出 欠 席 名 簿

まちづくりワーキンググループ

氏 名	出欠席
飯田 秀雄	出席
茅 弘秋	出席
今 美和子	出席
櫻内 康裕	出席
白石 一郎	欠席
進 晴菜	出席
鳥海 宗紀	欠席
濱野 麻利子	出席
森光 雄一郎	欠席

公共施設ワーキンググループ

氏 名	出欠席
太田 裕	出席
小方 明	出席
小野澤 行雄	出席
上遠野 イク子	出席
金 愛蓮	出席
佐伯 明美	出席
佐藤 正光	出席
高柳 眞木子	出席
古谷 明李	出席
森田 朱音	出席

公園ワーキンググループ

氏 名	出欠席
今井 寿	出席
荻野 弓希子	出席
荻原 ますみ	出席
城田 大介	欠席
田崎 一宏	出席
山口 清孝	出席
山本 里紗	出席

有識者協議会委員

氏 名	出欠席
伊藤 眞木子	出席
大谷 康晴	出席
押田 佳子	出席
小島 仁志	欠席
杉崎 和久	欠席
野口 直人	出席
山口 直也	出席